



◆子どもの体力向上の兆し 文科省調査

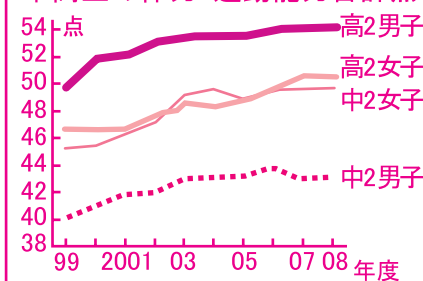
文部科学省が発表した2008年度の体力・運動能力調査によると、子どもの持久力や敏しょう性がこの10年でやや向上したことが分かった。子どもの体力水準が高かった1985年ごろと比較すると依然低いものの、同省は「多くの項目で向上の兆しがみられる」としている。

同省は小学6年、中学2年、高校2年をそれぞれ男女に分けた6グループで10年間の推移を分析し、持久力などを測る「上体起こし」や「往復持久走」、敏しょう性を測る「反復横跳び」は小中高生とも改善した。

分析にかかわった大学教授は「向上傾向が確かになっており、運動機会を増やそうとする学校の地道な努力の効果が表れているのではないか」としている。

(10/12)

中高生の体力・運動能力合計点



◆家庭の温暖化ガス排出 一世帯180万円で7割削減が可能

国立環境研究所の試算によると、2020年までに国内の温暖化ガス排出を1990年比で25%削減する政府目標の達成に向けた家庭での対策費は、太陽光発電の導入や省エネ家電への買い替えなどで、20年までに一世帯あたり累計180万円の投資で、家庭の排出を約7割削減できることが分かった。

目標達成にはCO₂排出を全世帯合計で現状の半分以上にする必要があるとされ、試算は太陽光発電、ハイブリッド自動車、省エネ冷蔵庫など7つの機器の段階的な導入で削減すると想定した。量産などによる価格低下も考慮した。

成長率鈍化に伴う可処分所得の減少や、光熱費の大幅上昇による負担増を考慮しておらず、前政権時の「20年時点で世帯あたり年36万円の負担が生じる」との試算と単純に比較はできない。

(10/24)

◆男性の喫煙率最低 08年厚労省調査

厚生労働省の「国民健康・栄養調査」によると、習慣的に喫煙している男性の割合(喫煙率)が2008年は36.8%となり、1986年の調査開始以降で最も低くなっていることが分かった。女性は9.1%で、2001年以来1割を下回った。

全体の喫煙率は21.8%で健康増進法が施行されてから5.9ポイント低下。特に男性は10.0ポイントも低下した。喫煙者の「禁煙したい」と考えるのは男性は28.5%、女性は37.4%で、男性は5年前に比べ3.9ポイント上昇した。

同省は「諸外国に比べると、喫煙率はまだ高いが、たばこが健康に悪影響を与えることへの認識が定着しつつある」としている。

年代別で喫煙率が最も高いのは、男性が40代で51.9%、次いで30代(48.6%)、20代と50代(いずれも41.2%)だった。女性は30代が18.0%で最も高く、続いて20代(14.3%)、40代(13.4%)だった。

(11/10)

◆温室ガス08年度1.9%増 90年度比 景気後退、伸び減速

環境省は、京都議定書の約束期間の初年度にあたる08年度の温室効果ガス排出量が12億8600万トンだったと発表した。過去最悪だった前年度と比べると6.2%減り、95年度以降で最少だったが、議定書の基準年である90年度と比べると1.9%上回った。

08年度の排出量が前年度に比べ大幅に減った大きな理由は、昨年から金融危機による景気後退で企業のエネルギー需要が落ち込んだことだ。部門別で見ると、産業部門は10.4%減と減少幅が最も大きく、運輸、家庭、業務はそれぞれ4%以上減っており、家庭や業務の場合は暖冬の影響もあったという。日本は京都議定書で08～12年度に90年度比6%削減を義務付けられているが、政府の計画で、森林吸収分と海外の排出枠を購入する分で計5.4%分をあてるため、実際は0.6%減を目標としている。1.9%増となった08年度では2.5%分が不足していた計算となり、更なる削減が求められている。

(11/12)

◆2050年試算 世界人口91億5000万

国連人口基金が発表した2009年版世界人口白書によると、09年の世界の人口は昨年比1.17%増加の68億2940万人で、50年には91億5000万人に増える可能性が大きいことが分かった。地球温暖化が及ぼす動植物や食料生産などについても分析し、将来的に厳しい干ばつで、6カ国に1カ国は毎年食料不足に直面すると指摘した。

人口が最も多いのは中国で、08年の13億4580万人が50年に14億1700万人に増加、第2位のインドでは08年の11億9800万人が50年には16億1380万人になるとの試算をした。

(11/19)

十一月十八日の東広島会場は、地域協議会「ひがしひろしま環境家族」と共同で開催。会場である中央公民館に三十三名が集まった。翌十七日の福山市当会東部支所には七十三名の参加があり、両会場とも住民や事業者、行政などのさまざまな立場の人が集まり、会場は熱気に包まれた。

セミナーでは、産業技術総合研究所の櫻井啓一郎氏より、「波に乗れ につぼんの太陽電



次年度の公衛協の共通事業について協議

十一月二十五日、地区衛生組織代表者会議第二回専門部会が鯉川会館(広島市)にて

次年度実践活動の展開策を協議

代表者会議専門部会

開催され、各市町公衛協の代表者三十人が出席した。環境・健康・組織のテーマに分かれ、重点メニューを含む次年度の実践活動について協議を行った。環境部会では、重点メニューの見直しのほか、県内約一万人の公衆衛生推進委員の活動成果を「見える化」することが必要との意見を受け、例えば、一月月間の県内一斉環

境活動支援センター) 今回の各部会の協議結果をもとに、来年一月に開催される「第二回定例会」では、来年度の公衛協事業について意思統一を図られることとなる。

(地域活動支援センター)

十一月十八日の東広島会場は、地域協議会「ひがしひろしま環境家族」と共同で開催。会場である中央公民館に三十三名が集まった。翌十七日の福山市当会東部支所には七十三名の参加があり、両会場とも住民や事業者、行政などのさまざまな立場の人が集まり、会場は熱気に包まれた。

セミナーでは、産業技術総合研究所の櫻井啓一郎氏より、「波に乗れ につぼんの太陽電

十一月二十五日、地区衛生組織代表者会議第二回専門部会が鯉川会館(広島市)にて

開催され、各市町公衛協の代表者三十人が出席した。環境・健康・組織のテーマに分かれ、重点メニューを含む次年度の実践活動について協議を行った。環境部会では、重点メニューの見直しのほか、県内約一万人の公衆衛生推進委員の活動成果を「見える化」することが必要との意見を受け、例えば、一月月間の県内一斉環

(地域活動支援センター)

温室効果ガス削減のしくみづくりを議論

脱温暖化地域セミナー

脱温暖化センターひろしまでは、東広島市と福山市の二会場で太陽光発電などの自然エネルギー政策や、温室効果ガスを減らすしくみづくりについて考える脱温暖化地域セミナーを開催した。このセミナーは、NPO法人気候ネットワークなど、CO₂削減目標達成のための制度づくりを求める五十四団体が連携した「MAKE the RULEキャンペーン」実行委員会」との共催で行った。

十一月十八日の東広島会場は、地域協議会「ひがしひろしま環境家族」と共同で開催。会場である中央公民館に三十三名が集まった。翌十七日の福山市当会東部支所には七十三名の参加があり、両会場とも住民や事業者、行政などのさまざまな立場の人が集まり、会場は熱気に包まれた。

十一月二十五日、地区衛生組織代表者会議第二回専門部会が鯉川会館(広島市)にて

開催され、各市町公衛協の代表者三十人が出席した。環境・健康・組織のテーマに分かれ、重点メニューを含む次年度の実践活動について協議を行った。環境部会では、重点メニューの見直しのほか、県内約一万人の公衆衛生推進委員の活動成果を「見える化」することが必要との意見を受け、例えば、一月月間の県内一斉環

(地域活動支援センター)



自然エネルギー政策の必要性を解説する講師の櫻井氏(福山会場)

「2010公衆衛生推進手帖」完成

地域活動支援センターは、今月、「2010公衆衛生推進手帖」を発行し、市町公衛協へ配布した。

公衆衛生推進手帖はコミュニティ活動のツールとして、県内の公衆衛生推進委員ならびに関係者に無料で配布している。

手帖の内容は、公衛協活動に使用しやすいよう、できるだけ最新の情報を多く盛り込んでい

るほか、新たに里山という視点で「生き物」という項目を追加し、里山をテーマとした活動展開へのきっかけづくりなどに活用していただける。

その他、季節の俳句・短歌や年齢早見表の追加な



表紙が紺色の2010公衆衛生推進手帖

ど、手帖としての使いやすさも向上させている。

また、これまでと同様に「スケジュール機能」「環境と健康に関するデیلیーチェック機能」「環境家計簿機能」「公衛協推進委員の活動の手引き機能」「環境と健康に関わる学習機能」を盛り込んでおり、公衛協活動のさまざまな場面で活用していただける冊子と

なっている。

平成22年も、手帖をあらゆる場面で活用し、公衛協推進委員のバイブル(必読書)として利用を広がってもらいたい。

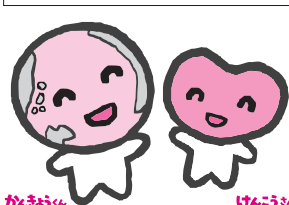
(地域活動支援センター)

健康感謝募金

～地区衛生組織活動資金募集～

市町別一覧表
(平成21年11月末現在)

健康感謝募金 総額	
59,556,894円	



健康感謝募金は、昭和35年から実施し、今年度で50回目を迎えています。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

市町名	募金額(円)	達成率
東広島市	4,681,400	127.5
三原市	1,769,470	82.4
世羅町	1,209,350	357.4
尾道市	4,813,630	152.7
福山市	9,806,100	107.1
府中市	1,202,660	139.6
神石高原町	346,900	165.0
三次市	1,653,507	139.1
庄原市	1,624,305	201.6
その他	68,134	
合計	59,556,894	168.7

※この表は、市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。